

和田グループ結成の挨拶

平成 22 年 (2010) 1 月 10 日
鐵砲洲稻荷神社 弥生会
会友 和田義男

1 皆さん、あけましておめでとうございます。今年から和田グループとして鐵砲洲寒中水浴大会に集団参加させていただくことになりましたが、代表を務めさせていただく和田でございます。どうか宜しくお願いします。

2 本日は、申込者 22 人中、19 人の方が出席されておられます。お渡しした紙袋の中に和田グループの名簿が入っていますので、ご覧下さい。参加者は、地元東京のほか、北海道、石川、群馬、埼玉、千葉、神奈川、愛知、京都、愛媛、福岡の各道府県から遠路はるばるお越し頂きました。大変光栄に思っております。皆様のご期待に添えますよう、素晴らしい寒中水浴を行い、清々しい気分で、新年をスタートしたいと思います。

3 それではスタッフを紹介します。

1) まず、相談役の奥村さん。石川県金沢市から毎年参加されておられ、今回で 16 回目となります。鐵砲洲の寒中水浴を支えてこられた方です。お気軽にご相談下さい。

2) 次に、千葉県浦安市から来られました世話役の三木さん。今年で 10 回目です。江戸人と呼んでおりますが、私を鐵砲洲に誘っていただいた恩人です。

3) 同じく世話役の新尺さん。群馬県から来られました。今年で 5 回目です。三木さん同様、各地の神輿祭や裸祭に参加されておられ、和田フォトに多数出演頂いております。

4) 弥生会の半纏を着ておられる方が、写真班の徳光さん。北海道は厚岸あつけしからの参加です。カメラを向けられても写真目線にならないよう、自然な表情をお願いします。

5) 同じく半纏の方は、国分寺から来られた支援班の伊藤さん。血圧がやや高いと云うことで、今年は支援班をお願いしています。

改めて参加者の皆さんには、昼食会のときに、名簿順に自己紹介をして頂きたいと思っていますので、宜しくお願いします。昼食会は、一般参加の方もおられますので、席順は決まっていますが、テーブルの片側に固まって着席したいと思います。

4 紙袋の中には、寒中水浴の栞のほか、プレゼントの品として私の対談が載っております武州路というタウン誌と 1000 万アクセス突破記念 CD が入っております。また、今回お世話になった方々には、和田家謹製の越中禪が入っております。和田グループ発足記念にご笑納頂ければ幸いです。

5 和田グループは、「全て自己責任」ということが行動の鉄則です。体調が悪い方は、水浴を中止し、見学に廻って下さい。また、途中で気分が悪くなったときは、やせ我慢をせず、中止する勇気も必要です。

6 既に、寒中水浴の栞に目を通して頂いたと思いますが、和田グループは、模範となる水行を行いたいと思います。神事の禊ですので、品位と規律ある行動をモットーにしています。水行が終わるまでは、私語や笑顔を慎み、真摯に取り組んで下さい。

8 昨夜、弥生会の石川幹事長のとのメールのやりとりを CC させて頂きましたが、昼食会のあと開かれる弥生会の直会に和田グループ全員が招待されました。地元江戸っ子の方々と交流できる絶好の機会ですので、お時間のある方は、是非、参加して下さい。

7 それでは、世話役の新尺さんにバトンタッチし、個別の注意や越中禪と鉢巻の締め方などの指導をしていただきます。以後、宜しくお願いします。有り難うございました。